



TITLE:

# クラゲの図案が登用された紙幣

AUTHOR(S):

檜山, 嘉郎; 牟田, 理; 久保田, 信

---

CITATION:

檜山, 嘉郎 ...[et al]. クラゲの図案が登用された紙幣. くろしお 2008, 27: 16-16

ISSUE DATE:

2008

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188219>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

## クラゲの図案が登用された紙幣 Jellyfish appearing in the design of paper money

榎山嘉郎<sup>1</sup>・牟田 理<sup>2</sup>・久保田 信<sup>3</sup>  
Osamu MUTA・Yoshiro KASHIYAMA and Shin KUBOTA

これまでコインにクラゲの図案が登用された例（2001年にパラオより発行）を報告した（榎山嘉郎・久保田，2002）が、今回紹介する紙幣は、西インド諸島の1国、アンチグア・バブーダから1983年に発行された金箔紙幣30ドルで、152mm × 70mm の大きさである。その裏面の図案に、海面に浮かぶ6個体のカツオノエボシ *Physalia physalis* (Linnaeus, 1758) が描かれ、海中に垂れるそれらの触手附近に計7尾のエボシダイが見られる（図1）。この紙幣は12枚組の1枚で、残りのどの紙幣にも軟体動物、

環形動物、甲殻動物、棘皮動物、脊椎動物に属する様々な分類群の海洋動物が描かれている。付記になるが、前報（榎山嘉郎・久保田，2002）に類似させて、クラゲを含む図案のコイン（1ドルと5ドルの2種）が、2002年にもパラオより発行されている。

### 引用文献

榎山嘉郎・久保田 信．2002：クラゲ、コインの図案に登場．うみうし通信，(35)，裏表紙．

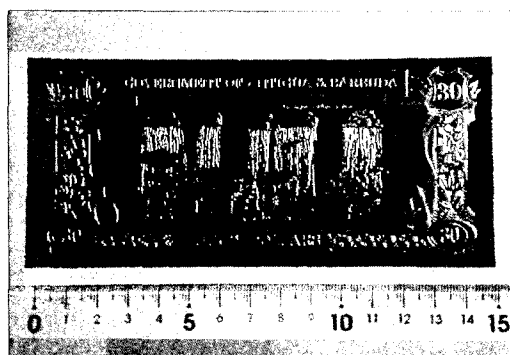


図1A 裏

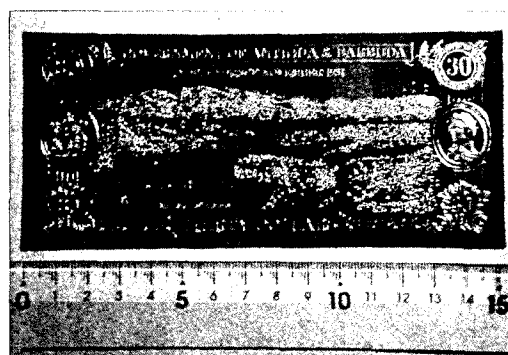


図1B 表

- 1 〒649-2201 西牟婁郡白浜町堅田 1143
- 2 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-1-18
- 3 〒649-2211 西牟婁郡白浜町459  
京都大学フィールド科学教育研究  
センター瀬戸臨海実験所